

コンクリート積みブロック

滑面

間知ブロック

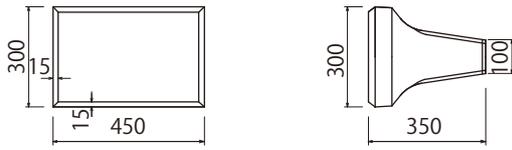


株式会社 赤城商会

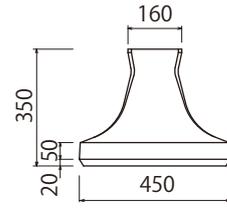
[www.akagi-sk.co.jp](http://www.akagi-sk.co.jp)

# 滑面間知ブロック

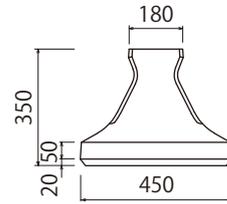
## A 型



### B 区分



### A 区分

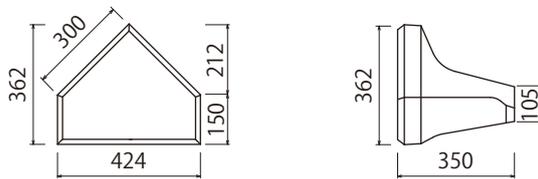


<JIS A 5371 附属書D、推奨仕様D-1>

項目	質量(kg)		体積(m <sup>3</sup> )		使用量(個)	寸法許容差(mm)		質量区分(kg)
	1個	1m <sup>2</sup>	1個	1m <sup>2</sup>		面	控	
型別	1個	1m <sup>2</sup>	1個	1m <sup>2</sup>	1m <sup>2</sup>	面	控	1m <sup>2</sup> 当り
A型 B区分	41.7	308.6	0.0181	0.1339	7.4	±3	±5	B(350未満)
A型 A区分	48.8	361.1	0.0211	0.1561	7.4	±3	±5	A(350以上)

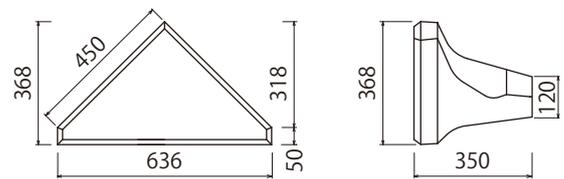
B区分: 1m<sup>2</sup>あたりの胴込コンクリート量 0.21m<sup>3</sup>  
 A区分: 1m<sup>2</sup>あたりの胴込コンクリート量 0.19m<sup>3</sup>

## B 型



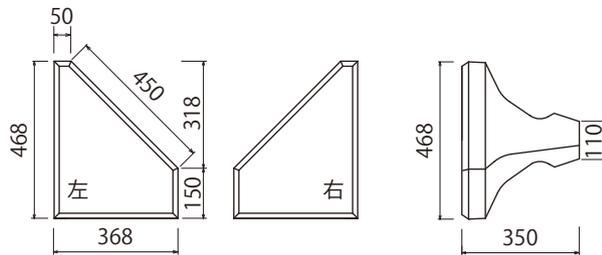
質量:34.8kg

## C 型



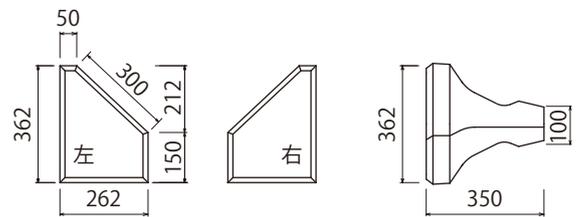
質量:40.9kg

## D 型 左・右 (左右とも数値は同じ)



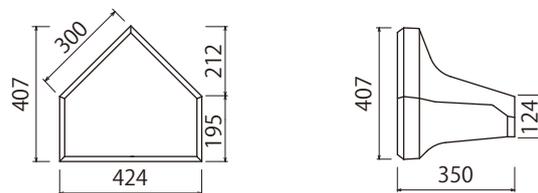
質量:38.0kg

## E 型 左・右 (左右とも数値は同じ)



質量:22.7kg

## 特B 型



質量:39.6kg

## SB 型



質量:22.5kg

## 水抜き型

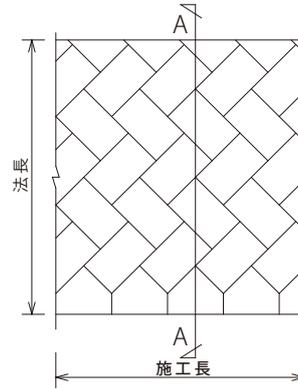
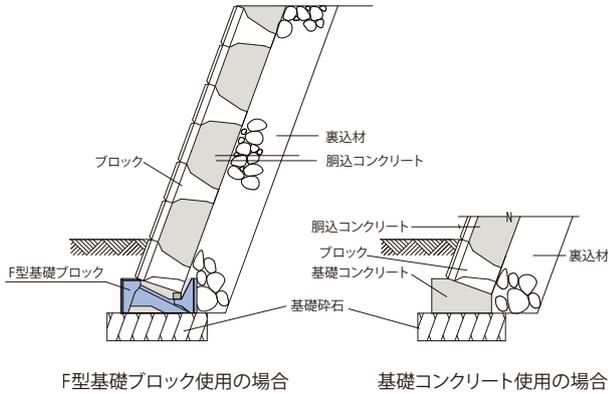


質量:41.2kg

※水抜き穴はΦ50での対応も可能です。  
 ※水抜き穴Φ75の場合、現場での加工が必要となります。  
 ※水抜き穴は、貫通していませんので現場加工にてご使用下さい。  
 ※穴部モルタル厚さにはバラツキがありますので、ご注意下さい。

# ブロック積擁壁施工図

## 谷積施工図(例)

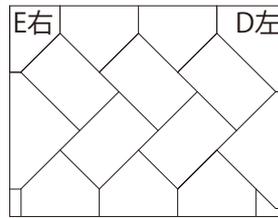


## 材料表

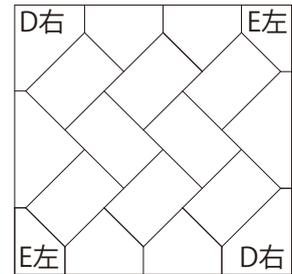
コンクリート間知ブロック(1m<sup>2</sup>当たり)

- ・間知ブロック . . . . . 7.4個 (450×300×350)
- ・目地モルタル . . . . . 0.001m<sup>3</sup>
- ・胴込コンクリート  
滑面B区分 . . . . . 0.21m<sup>3</sup>(0.35-0.0181×7.4÷0.21)
- ※A区分の場合胴込コンクリート量は0.19m<sup>3</sup>となります。
- ・裏込材 ・基礎コンクリート ・基礎砕石

A型の積み上げ段数が偶数段の例



A型の積み上げ段数が奇数段の例



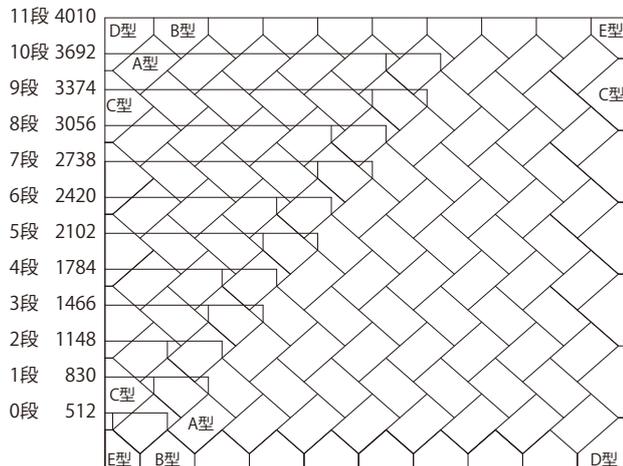
## 谷積ブロックの所要計算式

	(1)ブロック壁長 $L=0.424n+D+E$	(2) 最上段B型の使用数 $n = \frac{L \cdot (D+E)}{0.424}$	(3) 1段毎に伸長する法長	(4)ブロック法長(m)
滑面間知	$L = 0.424n + 0.368 + 0.262 = 0.424n + 0.630$	$n = \frac{L \cdot (0.368+0.262)}{0.424} = \frac{L \cdot 0.630}{0.424}$	$\frac{A}{\sqrt{2}} = \frac{0.450}{\sqrt{2}} = 0.318$	$H = B + B' + 0.318P = 0.362 + 0.15 + 0.318P = 0.512 + 0.318P$

※スプリット間知と滑面間知とは計算式内の値が異なります。

L=ブロック長(m)、n=B型最上段使用数、P=A型積上段数、H=ブロック法長(m)  
D=D型短辺長、E=E型短辺長、A=A型長辺長、B=B型全高長、B'=B型平行辺長

## A型の段数

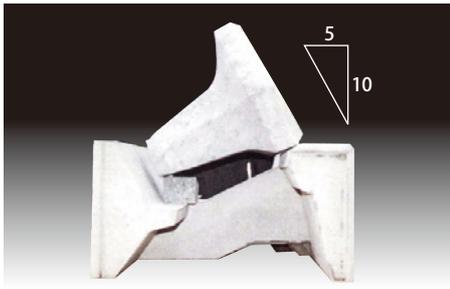


積み上げ段数の法長(mm)  
(根石・天端のB型を含む)

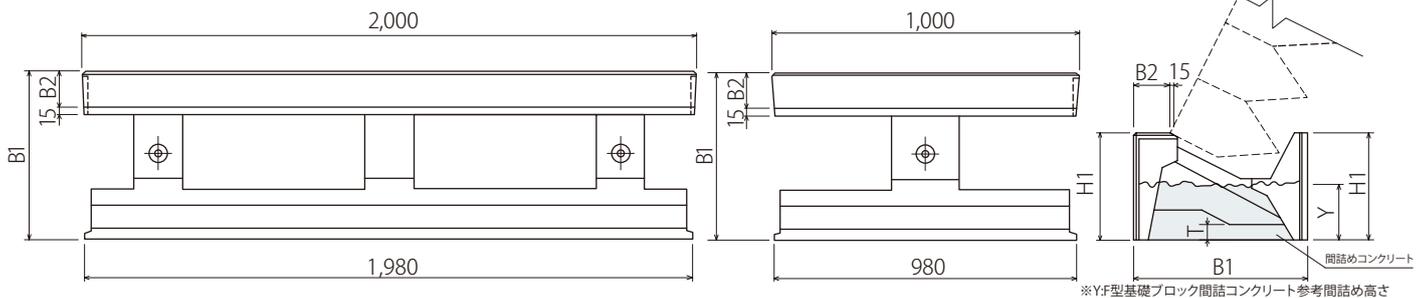
## 法長(H)の算出

A型積上段数	法長(m)	A型	B型	C型	D型	E型
0	0.512	0	2n+1	0	1	1
1	0.830	n+1	2n	0	2	2
2	1.148	2n+1	2n+1	2	1	1
3	1.466	3n+2	2n	2	2	2
4	1.784	4n+2	2n+1	4	1	1
5	2.102	5n+3	2n	4	2	2
6	2.420	6n+3	2n+1	6	1	1
7	2.738	7n+4	2n	6	2	2
8	3.056	8n+4	2n+1	8	1	1
9	3.374	9n+5	2n	8	2	2
10	3.692	10n+5	2n+1	10	1	1
11	4.010	11n+6	2n	10	2	2
12	4.328	12n+6	2n+1	12	1	1
13	4.646	13n+7	2n	12	2	2
14	4.964	14n+7	2n+1	14	1	1
15	5.282	15n+8	2n	14	2	2
16	5.600	16n+8	2n+1	16	1	1
17	5.918	17n+9	2n	16	2	2
18	6.236	18n+9	2n+1	18	1	1
19	6.554	19n+10	2n	18	2	2
20	6.872	20n+10	2n+1	20	1	1

# F型基礎ブロック



- F型基礎ブロックは、積みブロック擁壁の基礎工で、型枠工と天端部の均し工程を省力化できる製品です。
- 根石の胴込コンクリートは型枠を使わずに、基礎ブロックの充填と同時に打設可能です。
- 基礎ブロックとカイバンで高さを調節することにより、市販されているほとんどのブロックにて擁壁積みを自由な積み勾配に対応できます。



## F型基礎ブロック寸法表、間詰め・胴込めコンクリート数量表

呼び名	寸法表(mm)				重量(kg)		F型基礎間詰めコンクリート(m <sup>3</sup> ) (間詰め高さY)			滑面間知1段目胴込めコンクリート(m <sup>3</sup> )		
	B1	B2	H1	T	L1000	L2000	5分勾配	4分勾配	3分勾配	5分勾配	4分勾配	3分勾配
F1025	545	100	250	0	122	256	0.031 (Y=101)	0.040 (Y=125)	0.049 (Y=154)	0.080	0.071	0.061
F1030	565	100	300	0	158	330	0.047 (Y=151)	0.056 (Y=175)	0.066 (Y=204)			
F1035	565	100	350	50	170	369	0.067 (Y=201)	0.076 (Y=225)	0.086 (Y=254)			

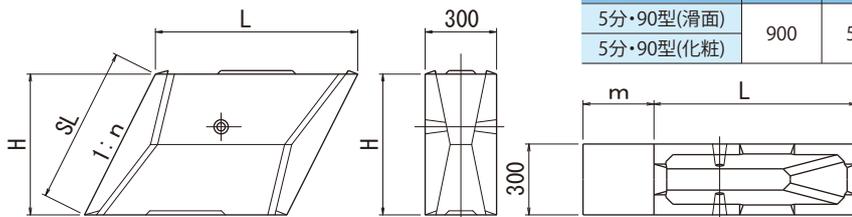
※詳細については弊社営業にお問い合わせください。

※延長1mあたり ※Y:F型基礎ブロック間詰めコンクリート参考間詰め高さ  
※間詰めコンクリートの設計基準強度は18N/mm<sup>2</sup>となります。

# カークヘキ ( 隔壁用ブロック )



- 胴込コンクリート型  
この製品はブロック内の胴込コンクリートと上下段のかみ合わせにより、壁体が一体化されることで連結金具は必要ありません。そのため、ブロック積の施工の後先に関係なくこの製品を積み上げることが可能です。
- 上・下かみ合わせ型  
製品の上・下にかみ合わせの突起があるため、製品を傾けて布設することができ、現場のいろいろな勾配に合わせて施工することが可能です。



名称	L(mm)	H(mm)	SL	勾配 n	m	製品重量	間詰めコンクリート (ブロック1個当たり)
5分・90型(滑面)	900	596	666	1:0.5	298	215kg	0.066m <sup>3</sup>
5分・90型(化粧)						220kg	

ご購入の前に ※商品の色調は撮影条件や印刷特性により、実物と多少異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。  
※寸法及び重量は、基本数値です。  
※商品の改良の為予告なく仕様を変更する場合があります。

※寸法は製品の特性上、バラツキのある事をあらかじめご了承ください。  
※納期をご確認ください。  
※コンクリート製品は白華を折出する場合がありますが、製品強度や環境に悪影響を及ぼす物ではありません。

製造・販売元



株式会社 赤城商会  
www.akagi-sk.co.jp

本社  
〒377-0203  
群馬県渋川市吹屋1093-4  
TEL:0279-24-3131  
FAX:0279-23-1447

首都圏支店  
〒333-0861  
埼玉県川口市柳崎1-2-28  
TEL:048-424-2250  
FAX:048-424-2274

